

キャリアセミナー（職業能力開発）

【テーマ】社会に溶けこむ人工知能技術

【日時】平成27年12月3日（木）

【講師】服部 宏充さん（立命館大学情報理工学部）

【感想】

○人工知能と人間との共生という表現に、人工知能に対する新しい捉え方を感じました。利用するだけのモノではなく、もっと深く生活に溶けこんでくる存在になるのだらうと思います。人文学関係の人間であっても、このようなジャンルに関心を持つことができました。

○人工知能がどんなものかを具体的に知ることができました。シミュレーションの研究にも興味があります。研究者の意識の問題を知ることができてよかったです。

○人工知能は怖くないといっても、人間（倫理委員会や国連、アメリカの人たち）の決めるルールが、現時点であまり公表されていないことが怖いです。技術の話、とても興味深かったです。

○人工知能に関する映画やテレビなどを見て、漠然とした怖いイメージがありましたが、人工知能研究の歴史から現在の問題意識に関するお話まで大変わかりやすく説明して下さい、もやっとしたイメージが解消されました。セミナーに参加して良かったです。面白く貴重なお話をありがとうございました。

○おもしろかったです。AIと人間が共生していくことについて、自分でも考えてみようと思いました。

○文学部なので、内容についていけるか不安でしたが、具体例や写真・動画が多く、楽しくお聞きすることができました。ありがとうございました。

○人工知能の授業内容でやったことがなかった後半の話が特におもしろかったです。人工知能がこれから進んでいくのは怖さがありましたが、恐れていることよりも、いかに上手く共生していくかに焦点をあてて勉強していこうと考えました。ありがとうございました。

○人工知能について技術の発展だけでなく、社会の中で人工知能を共生させることはとても重要なことだと感じた。

○人工知能の歴史を知ることができ、人工知能をととても身近に感じることができました。人工知能と人が共生していくという考え方は本当にすばらしいなと感じました。

○ニュースなどで人工知能に興味があったので聞きに来ました。人工知能はどういうものか？また、どの程度まで可能になっているのか？普段使っていることを知らずに使っている例など、馴染みやすい内容で分かりやすかったです。

○どうしても休めない授業があり、今回のセミナーには参加できませんでしたが、資料はとても分かりやすく、興味のある内容だったので、資料をいただけて嬉しかったです。コンピュータについてだけでなく、社会的な内容にも目を向けてあって分かりやすかったです。

○第2次冬の時代までしか背景を知らなかったのととても参考になりました。

○内容が難しいので理解できるか不安でしたが杞憂でした。今後は官学民の連携が必要。

○第2次ブームの終わりのころに「AI、第六感」という映画があった。結末は今日の最後の「take home message」と同じであったように記憶している。

○AIの歴史から最新情報までよく理解できました。AIと人間の共存がまさしく未来の課題だと思います。本日はどうもありがとうございました。

○AIの進展による益の享受面を考えていたが、利用の仕方によっては大きな問題を内包していることを気づかせてもらった。